国語復習プリント①

１　次の各文の【　】を、漢字で書きなさい。

１　大学で学業を【オサ】める。

２　国民は税金を【オサ】める義務がある。

３　政治で国を【オサ】める。

４　試合で一方的な勝利を【オサ】める。

５　利潤を【ツイキュウ】する。

６　地球のなぞを【ツイキュウ】する。

７　事故の責任を【ツイキュウ】する。

８　運動場を住民に【カイホウ】する。

９　緊張から【カイホウ】される。

２　次の熟語の対義語を□から選び漢字に直しなさい。

１　絶対

２　原則

３　形式

４　天然

レイガイ・タイカ・ジンコウ・ソウタイ・ナイヨウ

３　次の【　】にあてはまる漢字二字を補って、ことわざを完成させなさい。

１　【　　】の不養生

２　論より【　　】

３　花より【　　】

４　【　　】口に苦し

４　次のことわざの意味をあとのア～オから選びなさい。

１　灯台下暗し

２　雨降って地固まる

３　焼け石に水

４　枯れ木も山のにぎわい

ア　トラブルがあった後、かえってよい状態になること。

イ　わずかな援助では効果があがらないこと。

ウ　つまらぬ物も無いよりはましであること。

エ　手近のことがかえってわかりにくいこと。

オ　あつかましく、はじ知らずなこと。

５　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

　は猫である。名前はまだない。

　どこで生まれたかと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれはという人間中で一番な種族であったそうだ。この書生というのは時々我々を捕えて煮て食うという話である。しかしその当時は何という考もなかったから別段恐ろしいとも思わなかった。ただ彼のに載せられてスーと持ち上げられた時何だかフワフワした感じがあったばかりである。掌の上で少し落ち付いて書生の顔を見たのがいわゆる人間というものの見始であろう。この時妙なものだと思った感じが今でも残っている。第一毛を以て装飾されるべきはずの顔がつるつるしてまるでだ。のみならず顔の真中が余りに突起している。そうしてその穴の中から時々ぷうぷうとを吹く。どうもせぽくて実に弱った。これが人間の飲むというものである事は漸くこの頃知った。

　この書生の掌のでしばらくはよい心持ちにっておったが、暫くすると非常な速力で運転し始めた。書生が動くのか自分だけが動くのか分からないがむやみに眼が廻る。胸が悪くなる。到底助からないと思っていると、どさりと音がして目から火が出た。それまでは記憶しているがあとは何の事やらいくら考え出そうとしても分からない。

　ふと気が付いて見ると書生はいない。沢山おった兄弟が一も見えぬ。肝心の母親さえ姿を隠してしまった。その上今までの所とは違ってむやみに明るい。眼をいていられぬ位だ。果てな何でもがいと、のそのそい出して見ると非常に痛い。吾輩はの上から急にの中へ捨てられたのである。

　漸くの思いで笹原を這い出すと向こうに大きな池がある。吾輩は池の前に坐ってどうしたらよかろうと考えてみた。別に是という分別も出ない。暫くして泣いたら書生が又迎に来てくれるかと考え付いた。ニャー、ニャーと試みにやって見たが誰も来ない。その内池の上をさらさらと風が渡って日が暮れかかる。　　　　　　　（夏目漱石　『吾輩は猫である』）

　次の文中の　　　①～⑥にあてはまる最も適当な語を、あとの語群からそれぞれ選んで補いなさい。

　「吾輩」という呼称はどこか　①　さを感じさせるニュアンスのある語である。それをまだ名前もなく、どこで生まれたか分からない猫という小動物と結び付けたところに、すでに　②　が出ている。この滑稽で可哀相な吾輩は初めて見た人間の顔を妙なものだと思い、まるで薬缶だと馬鹿にしたように言っている。滑稽であるが、手厳しい　③　が込められている。このことを表現の方法として見ると、漱石は、

　④　を採り、　⑤　の　⑥　による人間の対象化を行っているのである。『吾輩は猫である』が　⑤　の　⑥　を通して人間社会に対する批判や　③　を行った作品として評価されるのは、この方法を漱石が自覚して深めたからである。

ア　目　　　イ　人間　　ウ　おかしさ　エ　非難

オ　楽しさ　カ　口　　　キ　尊大　　　ク　擬人法

ケ　生意気　コ　風刺　　サ　比喩　　　シ　猫

６　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

、の家にて人とをうちけるを、とＡいふ僧きたりて、、様々のをしけるを、にくしにくしと思ひけれども、物もいはでＢうちゐたりけるに、この僧さかしら立ちぬ。

Ｃかへりぬと思ひて、亭主、「この越前房はよき程の者かな。」といひたりけるに、かの僧いまだ帰らで、亭主のうしろに立ちたりけり。、また物いはせじとて、①亭主のひざをつきたりければ、うしろへ見むきて、見れば、この僧いまだありけり。この時とりもあへず、「越前房は。よき程の者な。」とＤいひなほしたりける、心はやさ、いと②をかしかりけり。　　　　　（『古今著聞集』）

注※双六　奈良時代に中国から伝承した室内遊戯。二人で行う。

１　二重傍線部Ａ～Ｄを現代かなづかいにして、すべてをひらがなで書きなさい。

２　傍線部①「亭主のひざをつきたりければ」は、誰が何のためにしたことか。最も適当なものを、あとのア～エから選びなさい。

ア　越前房が「或人」にでたらめを言わせないため。

イ　孝道入道が「或人」に悪口を言わせないため。

ウ　「或人」が孝道入道に陰口めいたことを言わせないため。

エ　越前房が孝道入道に負け惜しみを言わせないため。

３　傍線部②「をかしかりけり」について、答えなさい。

⑴　文章中での意味として最も適当なものを、あとのア～エから選びなさい。

ア　滑稽だった

イ　つまらなかった

ウ　情けなかった

エ　おもしろかった

⑵　作者は考道入道のどんな点を「をかしかりけり」と感じたのか。最も適当なものを、あとのア～エから選びなさい。

ア　悪口として言った同じ言葉ではぐらかして切り抜けた点。

イ　悪口を言われたが同じ言葉で逆に相手をやり込めた点。

ウ　悪口を、逆にほめ言葉だと解釈して気持ちを収めた点。

エ　悪口を言った相手にも腹を立てないで、許してあげた点。

４　古文の内容に一致するものを、あとのア～エから選びなさい。

ア　孝道入道は越前房と双六を打っていた。

イ　孝道入道は双六の途中で退席した。

ウ　孝道入道は越前房を憎らしいと思った。

エ　孝道入道は双六の勝負に敗れた。

７　次のマスのなかに、読む順序を算用数字で書きなさい。

１　　レ 　 　 　レ 　レ 　。

２　　 　二 　 　一 　。

３　　二 　レ 　 　一レ　　。

８　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 下 　　 者上。斉　王　「 　 」「犬　馬　」「　」「②鬼　魅　　」Ａ　犬　、③　所レ 　。旦　　 於　一、④不レ Ｂ　。鬼　　レ 形　不レ 二 於　一、　　也。　　　　　　　　　　　　　　　（『韓非子』）

１　二重傍線部Ａ・Ｂの読みと意味を答えなさい。ただし、読みは現代かなづかいで答えること。

２　傍線部①・③・④を書き下し文にしなさい。

３　傍線部②の理由として最も適当なものを、あとのア～エから選びなさい。

ア　鬼や化け物は、一定の形がないが、見える人には見えて、その証言を得られるから。

イ　鬼や化け物は、一定の形がなく、人の目に見えないので、どのようにも描くことができるから。

ウ　鬼や化け物は、一定の形がないうえに、種類も大変多いため、選んで描くことができるから。

エ　鬼や化け物は、一定の形がないが、昔の資料がたくさん残されていて参考にできるから。

国語復習プリント①　解答用紙　　　　年　　　組　　名前

１

１［　　　　　　］　２［　　　　　　］　３［　　　　　　］　４［　　　　　　］５［　　　　　　］

６［　　　　　　］　７［　　　　　　］　８［　　　　　　］　９［　　　　　　］

２

１［　　　　　　　　］　２［　　　　　　　　］　３［　　　　　　　　］　４［　　　　　　　　］

３

１［　　　　　　　　］の不養生　２論より［　　　　　　　　］

３花より［　　　　　　　　］　　４［　　　　　　　　］口に苦し

４

１［　　　　］　２［　　　　］　３［　　　　］　４［　　　　］

５

①［　　　　］　②［　　　　］　③［　　　　］

④［　　　　］　⑤［　　　　］　⑥［　　　　］

６

１Ａ［　　　　　　　　　　］　Ｂ［　　　　　　　　　　］

　Ｃ［　　　　　　　　　　］　Ｄ［　　　　　　　　　　］

２　［　　　　］　３⑴［　　　　］　⑵［　　　　］　４［　　　　］

７

１ 　レ 　 　 　レ 　レ 　。

２ 　 　二 　 　一 　。

３ 　二 　レ 　 　一レ　　。

８

１Ａ 読み［　　　　　　　　レ　］意味［　　　　　　　　　　］

　Ｂ 読み［　　　　　　　　ニ　］意味［　　　　　　　　　　］

２①［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　］

　③［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　］

　④［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　］

３　［　　　　］

国語復習プリント①　解答

１

１［　　修　　　］　２［　　納　　　］　３［　　治　　　］　４［　　収　　　］　５［　　追求　　］６［　　追究　　］　７［　　追及　　］　８［　　開放　　］　９［　　解放　　］

２

１［　　　相対　　　］　２［　　　例外　　　］　３［　　　内容　　　］　４［　　　人工　　　］

３

１［　　　医者　　　］の不養生　２論より［　　　証拠　　　］

３花より［　　　団子　　　］　　４［　　　良薬　　　］口に苦し

４

１［　エ　　］　２［　ア　　］　３［　イ　　］　４［　ウ　　］

５

①［　キ　　］　②［　ウ　　］　③［　コ　　］

④［　ク　　］　⑤［　シ　　］　⑥［　ア　　］

６

１Ａ［　　いう　　　　　　］　Ｂ［　　うちいたり　　　］

　Ｃ［　　かえりぬ　　　　］　Ｄ［　　いいなおし　　　］

２　［　ウ　　］　３⑴［　エ　　］　⑵［　ア　　］４［　ウ　　］

７

１ ２レ １ ３ ６レ ５レ ４。

２ １ ４二 ２ ３一 ５。

３ ５二 ２レ １ ４一レ　３。

８

１Ａ 読み［　　そレ　　　　　　］意味［　　そもそも　　　　］

　Ｂ 読み［　　ゆえニ　　　　　］意味［　　だから　　　　　］

２①［　　客に斉王の為に画く者有り　　　　　 　　　　　　　］

　③［　　人の知る所なり　　　　　　　　　　 　　　　　　　］

　④［　　之に類せしむべからず　　　　　　　 　　　　　　　］

３　［　イ　　］